

# ベトナム最新情報

2019年5月8日（水）

— 通巻4586号 —

## 目次

### ○ 政治・経済

- = 新天皇陛下の即位にベトナム首脳陣が祝辞
- = 年初4か月の貿易収支、7億ドルの黒字
- = eウォレットに関する規定が厳格化

### ○ 社会・文化・トレンド

- = コーヒーチェーンで外資は苦戦、国内企業は善戦し海外進出

### ○ 人事・労務

- = ベトナム物流業界の人材育成、オーストラリアが支援

### ○ 統計情報

- = 4月の物価は0.31%上昇、電気・ガソリンの値上げの影響

### ○ 一口ニュース（2件）

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

### ○ コラム

- = 動物園のために、希少動物を輸入する仕事

**\*\*\*\*\* 政治・経済 \*\*\*\*\*****新天皇陛下の即位にベトナム首脳陣が祝辞**

5月1日に皇太子様が新天皇に即位され、日本の元号が令和になったことを機に、ベトナムの Nguyen Phu Trong 書記長兼国家主席は、新天皇陛下に祝辞を送った。

また、Nguyen Xuan Phuc 首相は安倍首相に、Nguyen Thi Kim Ngan 国会議長は伊達忠一参議院議長と大島理森衆議院議長に祝電を送り、Dang Thi Ngoc Thinh 副主席は秋篠宮殿下に、Pham Binh Minh 外務大臣は河野太郎外務大臣に祝電を送った。

Nguyen Phu Trong 国家主席は書簡の中で、令和の時代に日本国民は国の発展において大きな偉業を達成すると信じており、両国の政府と国民の努力と合意と共に、アジアにおける日本とベトナム間の平和と繁栄のための深い戦略的パートナーシップが、ますます効果的に発展することを望んでいると記している。

(Sai Gon Giai Phong 5月2日,P.1)

**年初4か月の貿易収支、7億ドルの黒字**

税関総局によると、年初4か月の全国の輸出入の総額は、前年同期比で輸出入共に増加し、1,568億ドルと前年比で8%増加した。輸出額は787億ドル(5.8%増)、輸入額は780億ドル(10.4%増)で、年初4か月のベトナムの貿易収支は7億1,100万ドルの黒字となった。

**《主要な輸出品目》**

輸出のトップは依然として「電話・部品」で、輸出額は160億ドル。これに、「PC・電子機器・部品」、「繊維製品」、「機械設備」、「履物」などが続いた。

特に「木材・木製品」の伸びが大きく、前年同期比18%増の31億ドルとなった。また、水産物の輸出額は24億ドルに達した。

**《主要な輸入品目》**

主要な輸入品も殆どの品目で大きく増加した。「PC・電子機器・部品」の年初4か月の輸入額は158億ドル(前年同期比20%増)近くに達したと推定されている。

ガソリンは、総量、金額ともに減少し、輸入量は290万トン(35.2%減)、輸入額17億ドル(39%減)となった。

(Tuoi Tre 4月30日)

**eウォレットに関する規定が厳格化**

eウォレット開設のための書類に関する規定、取引限度額の設定、普通預金口座との紐付けなどはリスクを最小限に抑えるためのものだが、こうした規定が多くの人にeウォレツ

トの使用を躊躇させるかもしれない。

国家銀行は中間決済サービスに関する通達第 39/2014/TT-NHNN 号の改正草案に、新規開設や利用限度額に関する新しい規定を追加した。

## ■利用者の必要情報を追加

具体的には、eウォレットを開設する個人は、身分証明書、人民証、有効期限のあるパスポート、出生証明書（利用者が14歳以下の場合）、入国ビザまたはビザ免除を証明する書類（外国人の場合）、氏名、生年月日など、様々な情報が必要になるという。

また、eウォレット各社は、設立申請書、企業登録証明書、投資登録証明書をはじめ、法律で規定されている各種書類を準備しなければならない。

eウォレットを提供する各社（MoMo、ZaloPay、AirPay、Moca、Payoo など）は利用希望者が提出した書類が規定に沿ったもので、違反や不備がないかを精査しなければならない。それと同時に、eウォレット開設には利用者の電話番号が必要で、この電話番号を用いて個人の特定をすることになる。

また、同通達改正草案が施行される前に eウォレットを開設した利用者に対して、各社は、施行から半年以内に、同草案で追加された情報を各利用者から集めなければならないとしている。

財政専門家の Bui Quang Tin 氏は、eウォレットは現金を用いない現代的な決済サービスであり、今回の改正草案で盛り込まれた eウォレット利用者が各種個人情報を提出することは、理にかなっていると評価する。

こうして、個人の具体的な情報を提供することで、利用者が複数の eウォレットアカウントを開設し本来の目的以外に使用することを防ぐことができる。

また、管理機関は同サービスが悪用されないように管理をしていかなければならない。同サービスを提供する企業は、利用者の利便性を考慮しながら、様々な方法で今回追加された規定に基づいた新しい情報や書類の収集を進めていかなければならない。

「個人情報を開示しなければならないことから、eウォレットの利用を控える人もいるかもしれませんが、同サービスがさらに早く、便利に、現金を使わずに支払いができれば、多くの顧客を呼び込むことができるでしょう」と同氏は述べた。

通達改正草案は、eウォレットの利用者は、口座名義が本人のベトナムの銀行口座か ATM カードを eウォレットに登録しなければならないと規定している。eウォレットへの入金、利用者名義の銀行口座か ATM カードを通さなければならない、eウォレット間の送金については、同種の eウォレット同士で行うことができる。

注意すべき点は、通達改正草案が eウォレットを利用する個人、組織の取引限度額を具体的に定めているところである。

この規定によると、個人利用者の取引限度額は1日 2,000 万ドン（10 万円）、1 か月 1 億ドン（50 万円）までとなっている。一方、組織の利用限度額は1日 1 億ドン（50 万円）、

1 か月 5 億ドン（250 万円）までとなっている。

さらに、同改正草案は、e ウォレットサービスを展開する企業に対して、クレジットサービスや残高に対して利子をつけることなど、利用者の電子マネーを増加させる行為を禁止している。

また、マネーロンダリング、違法行為のための資金調達、詐欺を目的とした e ウォレットの利用は当然禁止されており、e ウォレットやその情報の売買、レンタル、譲渡も禁止されている。

### ■利用者の取引方法の変更を懸念

今回の改正案で追加された規定を見てみると、e ウォレットアカウントの開設や利用が非常に難しくなったと感じる。

現行の規定では、多くの e ウォレットサービスで、利用者はアプリをダウンロードし、電話番号を登録すれば、入金、送金、その他の取引ができるようになっている。

国家銀行の資料によると、現在、全国には、MoMo、AirPay、ZaloPay、VTCPay、SenPay、Vi TrueMoney、Moca など 26 の e ウォレットサービスがあり、e ウォレットで取引可能な組織（店舗やサービスなど）は 1 万を超える。

2018 年末までで、全国の銀行に登録された e ウォレットは 420 万に上った。中には、利用者数百万人を抱える e ウォレットもあるという。

e ウォレットサービスは徐々に普及してきており、都市部では電気、水道、インターネットの支払いをはじめ、買い物、サービス、電話料金のチャージ、保険などの購入にも利用されている。路上の飲食店でも e ウォレットで支払いが可能などところも増えている。

ホーチミン市 3 区で仕事をしている Hoai Lam さんのスマートフォンには、MoMo、Vi Viet、Viettel Pay、ZaloPay、Sacombank Pay など、様々な e ウォレットアプリがダウンロードされている。

彼女は「アプリをダウンロードして、電話番号を登録するだけなので簡単ですし、何より便利です。一度にたくさんの e ウォレットサービスに登録したのは、各社が展開しているプロモーションを受けることができ、必要なときにそれらを利用するためです。今後、人民証の登録などが義務付けられれば、登録する e ウォレットを減らすことも考えますし、日常的に使える最も便利なものだけを使うことになると思います」と話す。

e ウォレットの中間決済サービスを提供する企業の代表者は、今回の規定の厳格化で e ウォレットサービスの利用を控える人も出てくるかもしれないと心配する一方で、現金を使わない支払い部門の強化は国家が推し進めている政策の一つでもあると述べた。

同氏は、個人の e ウォレット利用限度額が 1 日 2,000 万ドン（10 万円）というのは、非常に低く、合理的ではないという。現在、パソコンやスマートフォン、バイクなど多くの商品が 2,000 万ドン（10 万円）を超えており、e ウォレットでの支払いを希望する人にとって大きな問題になる。

同氏は「現在は、非常に多くの商品やサービスがそれ以上の金額であり、eウォレットでの支払いが可能です。しかし、同改正草案が施行されれば、1日2,000万ドン（10万円）という壁が利用者に不便さを感じさせ、他の決済方法を選択させてしまうことになるでしょう」と懸念している。

そうした中、ある銀行の副頭取は、今回の改正案が定める利用限度額について概ね賛同している。

現在、各取引銀行は、認証方法やセキュリティのレベルに応じて限度額を定めている。現行のeウォレットはOTPコードとパスワード認証で、取引銀行の最低限度額と同等の取引ができるようになってきている。例えば、OTPコードによる認証の手順を省くということは、それによって引き起こされるリスクを容認するのと同義である。

この副頭取は、「今回の改正草案は、厳格化されただけでなく、はっきりとしたガイドラインを定めているところが評価できます」と述べた。

### ■非合法的取引を防止

国家銀行の同通達改正委員会によると、eウォレットサービスの利用限度額の設定は、マネーロンダリング、非合法活動など、eウォレットを利用した違法行為を最小限に抑えることを目的としており、日常的な支払いの利便性を向上させるというeウォレットの役割には合致しているという。

また、eウォレットサービスを提供する企業は、一人の利用者に複数のeウォレットアカウントを提供することはできない。こうした取り決めによって、マネーロンダリングや違法行為のために複数のeウォレットアカウントを開設することを防ぐことができる。

(Nguoi Lao Dong 4月22日,P.10)

## \*\*\*\*\* 社会・文化・トレンド \*\*\*\*\*

### コーヒーチェーンで外資は苦戦、国内企業は善戦し海外進出

業務の縮小やベトナム市場からの撤退を余儀無くされている外資系コーヒーチェーンが少なくない中、国内コーヒーチェーンはそのシェアを拡大し、中には海外進出を図るベトナム企業もある。

### ■外資系チェーンの現状

7年前、ホーチミン市1区のPhu Dong通りにスターバックスコーヒーが登場した日のことは、まだ市民の記憶には新しいだろう。オープン当初、多くの客が長蛇の列を作っていたのが懐かしい。

スターバックスのオープンから程なく、Coffee Beneが進出し、ここでも若者たちが長蛇

の列を作り、キムチの国から参入してきたコーヒーがどんなものなのかを楽しんでいた。

海外のフランチャイズに関する専門家は、ベトナムは人口が若く、能動的で、新しいものを好み、国際的な雰囲気があることが、海外の飲料、食品ブランドチェーンがベトナムに投資を計画する理由だと分析する。

しかし、こうした有名チェーンが進出を始めた頃とは様子が一変し、現在、一部の外資系コーヒーチェーン店の客入りがめっきり減ってきている。また、一部の企業は規模の縮小、戦略の変更、市場からの撤退などを余儀無くされている。

例えば、Coffee Bene は 5 年間で 300 店舗展開を目標にしていた。しかし、それから 1 年も経たずして、この目標は 100 店舗に下方修正され、現在の実店舗数はさらに少ない数に留まっている。

注目点としては、進出初期とは異なり、Coffee Bene の店舗は市内中心部の一等地ではなく、郊外やショッピングセンターのフードコートの一部や韓国人が多く住む地域に店舗を展開するようになってきたことだ。

ベトナム Coffee Bene チェーンの代表によると、国内のコーヒー市場は好まれる味も一定ではなく、多くの大手コーヒーチェーンが同じ舞台でしのぎを削っているという。店舗展開のためのテナント確保もかなり難しく、同コーヒーチェーンは計画をより合理的に調整したという。

また、他の外資系コーヒーチェーンである Gloria Jean's Coffee も様々な問題を抱えていた。

2012 年、Dong Khoi 通りに店を構えていた Gloria Jean's Coffee は、店舗の賃貸料金があまりにも高額なことから、閉店を余儀無くされた。2016 年、同店はホーチミン市内に 2 店舗を展開していたが、2017 年には、同ブランドは同市場から完全に撤退してしまった。

ベトナム Gloria Jean's Coffee の最後のオーナーは、同ブランドは特殊なベトナムのコーヒー市場の研究・計画が甘く、ベトナム市場からの撤退を余儀無くされたと振り返った。

Gloria Jean's Coffee の前に、シンガポールの SUTL グループによって展開されてきた、欧米スタイルのコーヒーとデザートを売りにしていた NYDC も、7 年間のベトナムでの奮闘の末、ベトナムの顧客に別れの言葉を告げる結果となった。

ベトナムで最初に Gloria Jean's Coffee を出店した人物で、現在はフランチャイズ専門家の Nguyen Phi Van 氏は「世界的に有名なブランドは、その進出における原則を応用するだけですが、一部の国や地域だけで認知されているブランドは少し状況が違います」と分析する。

発展のためには、チェーン店は独自の要素と、進出国や地域に合わせた要素の二つをうまく組み合わせて展開していかなければならない。

スターバックスは、市場参入から多くの年数をかけて、50 店まで店舗数を増やし、それぞれの店舗は独自のスタイルを持ち、ある店舗はファミリー層をターゲットに、ある店舗はビジネスマンをターゲットに、またある店舗は若年層をターゲットにするなど、それぞれ

れの店舗が独自の店舗作りを展開している。

しかし、多くのブランドでは、フランチャイズマニュアルがあることで、市場のニーズの移り変わりに追いつくことができていない。

一方、一部のブランドは、そのブランドの核となる要素は残すが、それ以外の要素については各店舗に任せるといった柔軟な契約を結ぶところもあるが、フランチャイズ権を購入するオーナーたちは、失敗や間違いを恐れるあまり、親会社の持つ既存の経営方法を取り入れ、保守的な運営に終始することで失敗するケースが多いようだ。

さらに注意が必要なのは、一部の外資系コーヒーチェーンは、彼らの国では認知度が高く、ターゲットとする客層は中間層である。

しかし、こうしたブランドがベトナム市場に参入してくると、ほとんどのブランドが高所得者層、ビジネスマンなどをターゲットにしているため、コーヒー1杯の値段は国内のカフェが提供するコーヒー価格の2~3倍になるのは珍しくない。

国内にはこうした客層はまだ多くないため、彼らはセルフサービス方式よりも、フルサービスを好むという特徴もある。

## ■国内ブランドの発展

外資とは対照的に、国内コーヒーブランドは順調に発展を続けており、外国チェーンが撤退した跡地にも新規店舗をオープンさせている。

Gloria Jean's Coffee の最後の2店舗のうちの一つが Con Rua 湖のロータリーに出店していたが、現在は Highlands Coffee が入っている。

ハノイやホーチミン市のほとんどの大型ショッピングセンターにあり、市内一等地では、野外に店を構えるなどして、Highlands Coffee は、国内で最も成長しているコーヒーチェーンで、会社員から若者まで、多くの客層の集客に成功したカフェの一つだと評価されている。

また、Phuc Long、The Coffee House、Passio Coffee、Cong Ca Phe などの国内コーヒーブランドも、ビジネスにおける柔軟性と、店舗にかかる賃料を最大限抑えることでそれぞれ成功を納めている。

Phuc Long は多様な商品と競争力のある価格、そして立地で、多くの若者を呼び込んでおり、Coffee House は若者好みのオシャレで印象的な店構えと若者をターゲットにした価格設定で他店と競い合っている。

ここ最近の市場動向として興味深いのは、コーヒー輸出専門の企業が新しいコーヒーチェーンを展開し始めている。

Phuc sinh 社の Phan Minh Thong 社長は、同社が手がける K Coffee は国内市場に参入し、さらに難しいと言われているヨーロッパ市場への進出も果たしている。ケーキなど豊富なメニューを K Coffee チェーン店に導入し、同社の今年の目標はベトナムにおける30店舗の新規オープンで、現在はフランチャイズ方式で投資家の取り組みを図っている。

同様に、輸出企業の TNI 社も、昨年半ば、Gia Lai 省に King Coffee をオープンさせ、コーヒー市場への進出を果たした。その後、同コーヒーチェーンはホーチミン市とハノイを中心に店舗数の拡大をしている。

一方、食品を扱う Nutifood もベトナム観光大使の Greg Norman 氏と協力し、ベトナム及び海外に展開するコーヒーチェーン合弁企業を設立し、Greg Norman NutiCafe コーヒー製品を販売する。一号店はホーチミン市中心部にオープン予定で、幅広い層をターゲットにするという。

コーヒービジネス市場への参入について各企業は、市場には非衛生的で、安全が保障されていない製品が広く出回っていることから、コーヒー市場にはまだまだ潜在力があると分析している。

しかし、Thong 氏は「国内市場におけるコーヒービジネスは決して簡単ではありません。何より、消費者が好むコーヒーの味というのはそう簡単に変わるものではありません」と話す。同社長は、K-Coffee チェーンは参入から 5 年で投資資金を回収できると信じている。

(Thoi Bao Kinh Te Sai Gon 4 月 25 日,P.2)

## \*\*\*\*\* 人事・労務 \*\*\*\*\*

### ベトナム物流業界の人材育成、オーストラリアが支援

オーストラリアはベトナム物流業界の職業スキル開発・試験プロジェクトを支援する。このプログラムは、企業が人材育成に共に参加することを目標としている。

#### ■人材不足のベトナム物流業界

現在ベトナムの物流業界は多くの課題、特に人材育成の不足に直面している。現在の人材は、能力や経験・人数共に業界のニーズを満たしていない。

ベトナムロジスティクス企業協会の統計によると、2030 年までにベトナムでは 25 万人の経験豊かな物流業界で活躍する人材が必要になると試算している。現在、物流業務を展開している企業数は約 3,000 社を超える。

そのため、新たに締結された「オーストラリアーベトナム開発協力プログラム (Aus4VietNam)」の中の、物流業界用の職業スキル向上プロジェクト「オーストラリアによる人材開発プログラム (Aus4Skills)」は、ベトナムの物流人材の開発目標を支援する基盤になると見られている。

Aus4Skills プログラムの専門家は、職業スキルの開発において、育成には企業との繋がりが必要で、物流業界協議会 (LIRC : Logistics Industry Reference Council) からの調整を受けられるなど、オーストラリアが近代的な育成プロセスを提供したという。

Aus4Skills の報告によると、これまでに提携している各教育機関における Logistics 講師



の能力は向上している。

現在、各学校では民間企業の参加を呼び掛けており、具体的には LIRC の支援の下、教育に関して民間企業がカリキュラムの構築と導入に参画している。

職業の基本に関する高度な訓練プログラムは、地元の職業訓練校の能力開発を通じて実施し、それぞれ基準に合わせてを評価しており、多くの学校は既に LIRC の会員になっている。

## ■変化する業務と人材ニーズ

Smartlog 社の Nguyen Ngoc Tu 社長によると、長年に渡り企業は採用の度に再度教育をする必要があったが、もし学校での教育プログラムで労働者に必要なスキルを身に付けさせることが出来れば、企業にとってメリットは大きいと賞賛する。

企業は、新たに人材採用を行う際、現在のように 10 回訓練をする代わりに、3 回の訓練だけで済ませたいと望んでいる。業界の各企業によると、以前と比べ、現在の仕事は大きく変化していると話す。

以前は、配達業務は従来型の方法で行われ、各業務は、電話番号や住所の記入から、検査結果まで、名前ごとに手作業で検索していた。

しかし現在は、配達の工程はバーコードをスキャンしてデータを保管するためにソフトを使用し、作業はシステム上で管理されている。現在スタッフは事務所に座っていても、外部の商品の進捗状況を管理することができる。

配達業務が変化するのは、小売業の新しい傾向に合わせる必要があるからだ。今日、各電子商取引での販売は多くのチャンネルを持っているため、注文に迅速に対応し、商品サプライヤーとの確認、素早い配達を促すための結びつきが要求される。

また、大規模企業に加え、多くの小規模経営の店舗も電子商取引での販売を行っていることから、これは運送業界にとってチャンスであると共に、新たな挑戦でもある。

そのため、ここ 2 年間の採用活動や、業界の人材ニーズも大きく変わった。倉庫での仕事は典型的で、仕事の説明では、残業が出来る労働者を求めるだけでなく、現在はオペレーティングシステムを理解し操作できるスキル、英語を理解できることも要求される。

Smartlog 社には 90 人の従業員がおり、このうち 40 人は IT を活用した仕事に取り組んでいる。そのため、従業員は物流スキルと IT の両方を学習しなければならない。

国際的な専門家の分析によると、専門的な物流プラットフォームを構築することは、大きな経済効果を国家にもたらすと言う。物流コストが下がれば、国の経済は利益を得ることができる。

現在ベトナムの物流コストは GDP の約 20% を占めているが、先進国では GDP の 9~14% に過ぎない。そのためベトナムは継続した経済発展に向け、さらに物流コストを引き下げるための努力が必須となっている。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 5 月 6 日,P.9)

**\*\*\*\*\* 統計情報 \*\*\*\*\*****4月の物価は0.31%上昇、電気・ガソリンの値上げの影響**

統計総局の4月29日の公表によると、4月の消費者物価指数（CPI）は前月比0.31%上昇した。

4月のCPIは2018年12月と比較すると1%上昇、前年同期比で2.93%上昇した。

統計総局によると、今月のCPIの上昇は、電気・ガソリンの値上げが直接影響しているという。

具体的にはガソリンは、4月2日と7日の2回に渡って大幅に値上げされ、CPI全体を0.41%上昇させた。

また、鉄道の切符価格は、Hung Vuong 記念日（今年は4月14日）や南部解放記念日（4月30日）、メーデー（5月1日）の祝日に合わせた旅行のニーズにより、交通機関のグループの指数は最も増加率が高い4.29%となった。

また、住宅・建設資材では、3月20日の電気料金値上げにより、前月と比べ、▽生活の電気代：1.85%、▽ガス代：1.42%、▽住宅のメンテナンス資材：0.98%などが、それぞれ上昇した。

一方で、4月の商品・サービスでは2つのグループで減少し、▽レストラン・飲料サービス：0.57%、▽郵便・通信：0.07%がそれぞれ下落した。

(Thanh Nien 4月30日,P.6)

**\*\*\*\*\* 一口ニュース \*\*\*\*\***

**Kien Giang 省は省内エビ養殖の111か所で疫病が発生していることを明らかにした。被害に遭った総面積は1,108haに及んでおり、解決策としてエビ養殖各世帯に殺菌化学物の塩素1万590キロを無料で発給した。**

(Thanh Nien 5月6日,P.16)

**Bamboo Airway は5月10日、Hai Phong 空港から Quy Nhon、ホーチミン市、Can Tho を結ぶ3路線を正式就航する。4月まで、同社は4,000便を運航し、定時運航率が92%で国内航空会社で1位となった。**

(Dau Tu 5月6日,P.2)

為替・証券市場動向	
為替相場	<p>キャッシュ 23,420 ドン/USD            &lt;国家銀行中心レート 23,046 ドン/USD&gt;            (5月8日 13時45分・Vietcombank)</p>
株価指数	<p>VN-Index 951.22 (▼-6.34/-0.66%)            VN 30 872.78 (▼-4.24/-0.48%)            (5月8日後場終値・ホーチミン市証券取引所)</p>

\*\*\*\*\* 入札情報 \*\*\*\*\*

【調達】中央内分泌科病院 医療品調達 (2019年第2回目)

(保健省承認 2019年4月25日付文書 1517/QD-BYT号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実 施期間
ジェネリック医療品の提供 (5種類、222品目)	2,059億9,847万ドン	診断・治療 サービス 収入等	国内公募 入札	2019年 第2四半期	固定 単価式	12か月

投資主：中央内分泌科病院  
 (電子入札システム 4月26日)

\*\*\*\*\* コラム \*\*\*\*\*

動物園のために、希少動物を輸入する仕事

飛行機代に数億ドル、陸上の輸送は40キロで静かに、長い移動に耐えられるように抱きしめて話しかけてなだめる。

これは、ほとんどの人が知らない、希少動物の輸入について話だ。

ベトナムには、希少動物の輸入が許可されている施設は僅か数か所しかない。

Dong Duong 動物園社の Bui Hong Thuy 社長は、動物輸入で現在ベトナムナンバー1と言われる人物だ。

深夜、Thuy 氏から電話があり、「夜中の 1 時 30 分に 2 頭のヒョウが Tan Son Nhat 空港の倉庫に降ろされ、その後 Long An 省の My Quynh 観光区に運ばれます。同行したければすぐに出発してください」と言われた。

## ■2 頭のヒョウを空港で受け取る

深夜 1 時 30 分、私は Tan Son Nhat 空港倉庫の TSC ゲートにいた。Thuy 氏と飼育員、トラック運転手が既に荷物受け取りエリアで待機していた。

Thuy 氏は、「インドネシアから輸入された 2 頭のヒョウはマレーシアの国境を越えてやっとここまで来ました。向こうの 2 つの籠の中にいますが、手続きが終わるのを待たないと移動ができません」と言って、輸送のために必要な書類の束を見せてくれた。

クロヒョウの雄と、ウンピョウの雌がここに来るのにかかった航空運賃は 3 億 3,000 万ドン（約 165 万円）、ファーストクラス 2 席分より高い。

輸入された動物、特にこの 2 頭のヒョウのような希少種の場合、不測の事態を避けるため、飼育檻までの移送は時間との戦いだ。

Thuy 氏は、「動物が空港に到着するのは殆どが深夜で、通常はすぐに荷降ろしをしなければなりません。他の荷物のように一晩置くようなことはできません」と話す。

迅速に手続きを終え、ヒョウが入った 2 つの籠は外に出された。完全に密封された箱の大きさは 1.5×1.2×0.8 メートルで、小さな金網の穴しかないため、ヒョウの顔を見ることはできなかった。

飼育員がヒョウに飲ませるため箱の中に水を注ぎ、その後フォークリフトを使ってトラックに載せた。動物園で生まれたのか人間になつており、肉食動物である 2 頭のヒョウはとてもおとなしく、衝撃音や車の音、人々の騒めきにも特に反応しなかった。

獣医による検疫を終えて、車が出発した時、時刻は午前 3 時近くになっていた。

道路は空いていたが、車は時速 50～60 キロしか出さない。

Thuy 氏は、「ヒョウなのでこの速度で車を走らせますが、キリンやカバ、チンパンジーであれば、せいぜい時速 40 キロしか出せません。高速での走行は動物たちの健康や精神に悪影響を与えます」と説明し、さらに面白い話を聞かせてくれた。

動物たちは檻に入る前に、どの動物園でもお供えの儀式をするのだと言う。儀式をしないと動物に何がしかの問題が出ると信じられているという。

1 時間ちょっとで、動物は My Quynh 観光区に到着した。檻はコンクリートと鉄格子窓で頑丈に 2 つに分けられていた。中はかなり狭く、待合室のようなもので、ヒョウは約 1 か月間ここで慣らされた後、野外の広くて風通しの良い檻に移される。

オスとメスで、今後は繁殖のためツガイにさせる予定だが、最初のうちはオスとメスを別々に飼育する。檻のドアが引き上げられると、クロヒョウの雄は凄い勢いで中に入り、“な

わぶり”としてマーキングを始めた。ユンピョウのメスも素早く自分の檻に入って行った。

この時、園内の動物たちは“新しい仲間”が来たと盛り上がっていた。広場にある檻にいるツキノワグマたちは、目を覚まして唸り、後ろ足で立ち上がり、耳を傾け、長い時間興味深く檻のドアに目を向けていた。

この 2 頭の新参のために、新鮮な牛肉のごちそうが用意された。檻の中に肉を投げ入れると、黒ヒョウとユンピョウはすごい速さでパクリと噛みつき、ががつと食べた。

飛行機の費用は何億ドン（数百万円）もするが、動物の“乗客”には食事は提供されなかったに違いない。

#### ■40 頭のキリンを南アフリカから

Thuy 氏は 2004 年、5 日間で 5 か国を回り、40 頭のキリンをベトナムに連れてきた時のことを忘れられないという。

キリンたちは南アフリカから、貨物機でオランダのアムステルダムまで行き、その後、陸路でベルギーのブリュッセルまで移動し、タイ行きの飛行機に乗った。

そこからはまた陸路で、ラオスを超えて Quang Tri 省の Lao Bao 国境を通過しベトナムに入り、車でホーチミン市までやってきた。

Thuy 氏は、「こんなに沢山のキリンをベトナムに連れてくるのは本当に大変でした。まずは、身長 2.5 メートル前後のキリンを運べる飛行機を探さなくてはなりません。何か月も交渉してやっと 1 つの航空会社が受け入れてくれました」と振り返る。

「陸路の移動では車は時速 40 キロ以下でしか走行できませんし、アクセルも本当に均一にしなければなりません。そうでないとキリンの首が何度も揺れて、血管が破裂し、筋肉が壊死して、輸送中に死んでしまうからです。以前、それを知らずに大きな損害を被ったことがあります」と Thuy 氏は話した。

#### ■チンパンジーの輸送で涙する

また、チンパンジーを輸送する時に悲しい出来事に何度か遭ったこともあるという。

あるチンパンジーの夫婦は、ハノイの動物園に移動する前にしばらくの間ホーチミン市の動植物園に“短期滞在”していた。

大変な思いをして、やっとチンパンジーを輸送用のケージまで連れてきたが、車に乗り込むとオスのチンパンジーは行きたくないと自分の胸をバンバン叩いて、異常な興奮状態となり抗議し続けた。

輸送スタッフが元の場所に戻すことを決めた時にはもう手遅れで、このオスのチンパンジーは獣医たちの緊急蘇生にも関わらず心臓破裂で死んでしまった。

2017 年にマレーシアの動物園から輸入された他のチンパンジーも、Thuy さんや同僚にとって忘れられないチンパンジーだ。

小さな頃から動物園で育ったため、そのチンパンジーは飼育員ととても仲がよかった。

ベトナムに連れてこられた時には、元々世話をしていた飼育員が同伴し、常に飼育員にギョッとしがみついていた。

飼育員がベトナムを去る時、本当に長い時間話をして、その後もビデオ電話を続け、やっとベトナムに移住することを納得させた。

そのマレーシア人の飼育員はチンパンジーと別れる時、チンパンジーを抱きしめて泣き続け、多くの人たちもそのチンパンジーを可哀想に感じたという。

動物飼育員の Tran Ngoc Ut さんは、「チンパンジーは、非常に頭が良く、生活環境に敏感な希少動物であるため、飼育員は子供に接するように、常に愛情を注がなければならないのです」と話す。

それでも、Thuy 氏をはじめとする人々は、珍種の動物やベトナムにはまだいない動物を海外から持ち込むことに大きな喜びを感じている。

Thuy 氏は、「自分が輸入した動物が日に日に育っていったり、子供を産んだりするのを見ると、とても幸せを感じます。最近ではアフリカから Phu Quoc サファリに輸入したサイが4月3日に子供を産みました」と嬉しそうに話した。

(Thanh Nien 4月21日,P.17)